

# 2025年度事業計画書

2025年4月1日から2026年3月31日まで

特定非営利活動法人箱崎自由学舎ESPERANZA

## 1 事業実施の方針

不登校児童・生徒や高校中退者及びその家族に対する教育相談業務や学舎の運営など、引き続き、フリースクールの運営の事業を中心に実施する。さらに、児童・生徒が社会に適応し、自立するための社会体験アクティビティーなどを取り入れていく。2012年度に導入した「訪問形式の相談及び学習活動支援」は要請があれば実施する。さらに要望が減らない、小学生の居場所に関しては、「フリースペースえすぺらんさ」の運営を継続。2024年度に実施した修学旅行に関しては、保護者の要望にあわせ、実施を検討する。

さらに、2016年12月に成立した「多様な教育機会確保法案」に伴い、フリースクールの活動が見直されている状況に鑑み、教育委員会等と連携を取りながら、不登校で悩んでいる子どもたちの居場所としての機能を強化・拡充していく。学舎スタッフ（上村）が福岡市教育委員会主催の「登校支援対策会議」に専門家メンバーとして、しっかりと地位を確立し、福岡県内のフリースクール等で結成した「ふくおかフリースクールフレンドシップ協議会（FFF）」の事務局長として、フリースクールの存在をよりアピールする。

2022年度に採択された「休眠預金活用事業」も2024年度で終了したが、独自の予算で、関係者の家計支援が進み、フリースクール等、学校以外の居場所が社会的に認められ、公費の投入がなされるように、法律の整備のための動きを継続実施する。

なお、上述の事業等を遂行するためには、安定した収入（事業収入、会費収入）が必要である。しかしながら、収益の上がる事業や安定した収入が確保できる事業の開発に至っていない。認定特定非営利活動法人の認定（2020年3月5日取得、3月11日更新）が延長されたため、税制上の優遇を受けられることをアピールし、大手企業等への広報活動を行うことにより、より多くの経済的な支援を受け、子どもたちの学習環境をより良いものへしていきたい。さらに、学校へは行っていないが、その他の場所とつながりを持ちたい生徒たちへのアプローチや、親の会強化、生徒募集強化など、学舎運営改善に向けての活動も積極的に実施する。

200名を超える支援者の皆様や子どもたちに関わるボランティアの先生方によって支えられ20年間運営できていることに感謝し、学舎のサポーターの皆様にご満足していただける一年に、また、より多くのサポーターさんに協力いただける1年にしていきたいと考えている。

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
①不登校児童・生徒や高校中退者及びその家族に対する相談事業や講演会の開催事業	1. 不登校児童・生徒や高校中退者及びその家族に対する教育相談の実施	毎日	学舎	4名	児童・生徒及びその家族多数	1,300
	2. 座談会の開催	6月21日 10月18日	東区 なみきスクエア	ボランティア 1名 4名	親など59名 6/25 (32) 10/23 (27)	120
	3. 子育てに悩みをもつ親との「子育て井戸端会議」の実施	毎月1回土曜日 年12回	学舎 フリースペース	2名	親など35名	120
	4. 子育てサポーターの実施	週1回	東区	4名	対象家族1家族	600
②フリースクールの運営事業	1. 教科指導を伴うフリースクールの運営	毎日	学舎	ボランティア 13名 4名	生徒14名	5,000
	2. フリースペースの運営	毎日	学舎 フリースペース	ボランティア 1名 4名	児童・生徒 4名	1,500
	3. 野外アクティビティー	毎月	近隣	ボランティア 1名 4名	児童・生徒 のべ200名	700
	4. 海岸清掃ボランティア	7月5日	糸島海岸	4名	生徒3名	38
	5. 地域餅つき大会	12月21日	ミニストップ 駐車場	ボランティア 5名 4名	地域の家族 生徒90名	70
	6. 20周年記念事業	3月28日				
③不登校に対する理解を啓発する講演、勉強会、意見交換会の開催事業	1. 法整備に係る部会の運営	2か月毎	会議室	3名	70名	350
	2. フリースクール事業基盤強化	毎日	学舎	4名	生徒14名	2,700
その他④⑤⑥の事業	(今年度の実施なし)					

① 不登校児童・生徒や高校中退者及びその家族に対する相談事業や講演会の開催事業

② フリースクールの運営事業

③ 不登校に対する理解を啓発する講演、勉強会、意見交換会の開催事業

④ 自然体験や地域活動を通して児童・生徒の自主性を育む事業

⑤ 海外へのスタディツアーや外国の人々との交流会などを通して、地球人としての国際感覚を養う事業

⑥ 手作り品の製作や販売体験などを通して、児童・生徒の社会適応性を養う事業